

# 常議員会

2.23～25 市ヶ谷センター

第23回総会期第3回常議員会が、2月23日～25日にかけて市ヶ谷センターにて行われました。08年度収支決算報告会計監査報告をはじめ、09年度予算審議が行われました。また、給与制度及び財源に関する抜本検討委員会からの提案、教職転任費積立制度要綱見直しなどが協議されました。詳しくは議事録をご覧ください。

新卒・J3の人事は次の通り承認されました。

- 【新任】板橋教会 汲田真帆 牧師補  
 鹿児島教会・阿久根教会 小山茂 牧師補  
 広島教会 鷲見達也 牧師補  
 ルーテル学院中高チャプレン 崔大凡 牧師補
- 【J3プログラム】  
 本郷学生センター マシュー・リンデン Matthew Linden  
 九州ルーテル学院  
 キャロリン・スティプカ Carolyn Stypka  
 ジェニファ・ブラウン Jenifer Brown

# すべての人に祝福を！

東京教会・お誕生日の方々へ祝福を

## Happy Birthday to You

みなさんの教会ではお誕生日をどのように祝っているのでしょうか？「週報にお誕生日の人の名前を載せている」「バースデーカードを送っている」という声はよく聞きます。ですが、もう一工夫すれば教会は祝福と笑顔で一杯になるのです。



誕生日を迎えた方々

東京教会ではまず「お誕生日おめでとう！ 次の日曜日あなたのために皆で祈ります。だから礼拝にぜひ来てください。ささやかなプレゼントも用意して待っていますね」と招待状を書いて、お誕生日を迎えた方を礼拝にお招きします。そして月末の主日礼拝の「特別の祈り」で、その月に生まれた全ての人のお名前を読み上げ、祈りを捧げるのです。

礼拝に普段来ている人でも、またしばらく来っていない人でも、毎月30名～40名の方々のお名前を読み上げて祈ります。教会に繋がる一人ひとりを思い出し、その人の1年の幸せを皆で祈ることはまさに「特別の祈り」です。礼拝の中で自分の名前が読み上

げられ祈られること、またしばらく会っていない人を想うこと、小さなことのようにですがとても心が温かくなる一時がそこにはあります。

そして礼拝後は、お誕生日を迎えた人全員に前に出してもらい、小さなプレゼントをさし上げるのです。プレゼントは手作りの教会のキーホルダーであったり、障がいを持つ方々の作業所お手製のジャムであったりです。プレゼントを手渡したところで、今度はパイプオルガンの伴奏に合わせて♪ハッピーバースデー♪を皆で歌います。祈りと歌声と拍手、そして祝福に包まれて礼拝堂は笑顔で一杯になるのです。その日が伝道礼拝と重なる時は、ハンドベルクワイア、ジャズバンド、マンドリンアンサンブル、聖歌隊などのゲストによる♪ハッピーバースデー♪を聞かせてもらえる時もあります。

このように教会に繋がる全ての人には必ず祈られていて、皆に覚えられていて、そして神さまに祝福されているのです。こんな時代だからこそ、祝福の輪と皆の笑顔がどんどん広がっていきますように！

(東京教会 牧師 関野和寛)



遅れてやってきたトナカイとサンタさんがプレゼントを渡す

2009年  
**JELC** 3月  
 No.735

■発行所■  
 〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
 電話 03-3260-8631

日本福音ルーテル教会事務局広報室

■振替口座■  
 00190-7-71734

■ウェブサイト■  
<http://www.jelc.or.jp>

■E-mail■  
[jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)

■発行人■  
 徳野昌博 koho04@jelc.or.jp

■印刷人■  
 精文堂印刷株式会社 (定価1部40円)

## CONTENTS

目次

- 1 | 常議員会  
アワーミッションレポート  
風の道宝箱「人生の『後書き』任せます」
- 2 | 牧師の声・信徒の声  
アーチビショップ来たる
- 3 | 神の造られた世界・環境と聖書④  
神学生寮 - 支え支えられ -  
全国式文アンケートの集計から
- 4 | 佐賀県・22世紀に残す遺産  
ALIC 協議会  
ポブ先生の旅日記④  
按手式、全国伝道セミナー  
メディア伝道委員会報告  
お詫びと訂正  
住所変更のお知らせ

福音版

- 1 | バイブルメッセージ  
そのままのあなたで
- 2 | 十字架の道行き  
毎日あくしゅ⑩  
谷センセイの 教育い・ろ・は⑩

風の道宝箱  
**人生の『後書き』任せます**

背中が重いと感じる年齢になりました。おかしな表現ですが、中年になると背負っているものが多くなるようです。それに押しつぶされないように頑張るか、神様にお任せして軽くなるかのどちらかです。

道元禅師の言葉に「霧の中を行けば、気づかず衣湿る」があります。霧の中を歩いていると知らない内に衣服が湿ってきて重くなるということです。濡れるともなく濡れる。人間の生き方も、知らないうちにということが多いものです。

それでは、少し考えを変えてみました。知らないうちに身につくのなら、美しい、楽しい、感動する「の中を歩いていけば、知らないうちに湿ることになります。苦しいとか、仕事が大変だと背中が重くなっていく。これも神様から与えられた恵みと思えば、ともに歩むならば人生は神様の恵みに湿ることが出来ます。恵みにしつぽりと包まれます。

人生は小説だと言われます。命の誕生から天国への旅立ちまでの起承転結の物語です。「前書き」は親の人生が書かれます。それでは「後書き」は誰が書くのでしょうか。それは神様の執筆です。あなたの信仰のすべてを書かれます。

(柿のたね)



# <信徒の声> 教会の宝石を捜して

東海教区 新霊山教会 信徒  
白井忠夫・和子 夫妻

白井忠夫(うすいただお)さんと白井和子(うすいかずこ)さんご夫妻は1959年12月・修学院教会にて、ハリ・トムセン師より受洗。袋井に引っ越して来たのは、1965年。それ以来、デンマーク牧場との関わりがおります。



忠夫・和子…修学院教会ができる前に、大学生の共同下宿をH・トムセン宣教師がやっていた。そこで洗礼を受け、京都消防署で働いていました。そこに、静岡で酪農学校をつくるから、一緒に来て欲しいとトムセン師に頼まれて、家族と静岡に(デンマーク牧場)越しをしました。

「夫妻でも京都で生まれですが静岡にいられたいきさつを教えてください。」

忠夫…寮母の役目でした。あの時は、「内地」での酪農は珍しかった。酪農先進国であるデンマークの酪農技術を学べる専門学校というのが目玉です。人工授精等もまだやっていなかった。恐らく日本で初めてでしょう。横浜港に精液を取りにいったのを覚えて

「どんな仕事をされたのですか?」

忠夫…私は機械の授業を担当しました。家内は寮母の役目

「聖書の言葉や教会での教えは、どう自分に影響してきましたか?」

忠夫…開校した1965年には、まだ新霊山教会はありませんでした。酪農学校の中で、礼拝をしていました。

和子…キリストの精神と合っているかしら…。仕事は、何もかも大変でした。それでも、いろいろな人に喜んでもらいたいと心がけてきました。「受けるよりも与える

今年クリスマスで受洗60年を迎えます。夫妻が、いま祈っていることは何ですか?」

和子…主人は、病氣もなしに、一生懸命働いてきた。「外地」から引き上げてきたところから、よく生き抜いてきたとつくづく感じ

ます。だから、今は神様に守られているという気持ちで強く、感謝しています。娘も牧師と結婚して、世界中を飛び回っています。教会のつながりで外国に行つて、今は本当に良かったと思つています。

忠夫…過去の境遇を振り返って悔いなどはありません。現在の境遇に満足していません。今年10月の献堂40周年行事には、スキャンジナビアからも関係者が来られるので、楽しみです。

## 牧師の声・信徒の声

小泉潤牧師から洗礼を受けて間もない21歳のとき、宇部教会で開催された特別伝道集会の講師の岸千年牧師から勧められた本があった。『われ、ここに立つ』である。ルターの伝記と言えるこの書から、ルーテル教会が「信仰義認」を旗標とし、その礎となる聖句が「人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰によるのである」とある。ローマ3:28口語訳聖書から」というパウロの言葉であること

をばらばらながら学んだ。そして自分自身の信仰を意識し、私の信仰を強めることを目標とした。それから、自身の信仰にたいした確信を持っていないままであったが、2年間の会社勤めを辞め、見切り発車のように神学校を受験し、入学が許された。

「人が義とされるのは…:信仰による」と訳されたパウロの肉声はどうか。そこから分かったことは、「信仰」という言葉をどうして「キリストを信じる

「信仰」と読み取り、結果「自分自身の信仰」と理解してしまっていることであつた。かたや、「キリストを信じる信仰」を「キリストの信実(バルト)」「キリストの信(田川建三氏)、あるいは「キリストのまこと」(小川修氏)と理解する者が



人が義とされるのは、律法の行いによるのではなく、信仰によるのである

ローマ人への手紙 3章28節(口語訳)

東教区 東京池袋教会、板橋教会 牧師 立山 忠浩

<牧師の声> 私の愛唱聖句

## フィンランド福音ルーテル教会 アーチビショップ来たる

日本との正式な国交を結ぶ19年前、フィンランドのヘルシンキの港から長崎に着いた一女性と牧師家族がいた。1900年12月のことだった。若干16歳のエステル・クルビネンとウェルローズ牧師一家だった。彼らは、ロシア発給のパスポートを持ち入国したのである(フィンランドの独立は1918年のこと)。この少女と牧師一家こそ、エバンケリクス(福音派)と呼ばれる信仰復興運動より押し出されてきた宣教師であった。

この運動体は、SLEY(フィンランド福音ルーテル協会)の流れになった。今も、ルーテル教会の信仰を、信仰覚醒運動は支え続けている。そして、宣教師を送り出す宣教団体、協会は、国教

会であるフィンランド福音ルーテル教会と深い関係を持ってきた。

来たる4月3日、そのフィンランド福音ルーテル教会を代表してアーチビショップ(教会の職制である「監督制」の総代表者)のユッカ・パールマ氏が来日をされる。熊本での「宣教百年記念大会」(1993年)に、時のアーチビショップ・ビクストローム氏の名代としてその弟(彼はボルボーのビショップである)が来日されたことがあったが、アーチビショップ自身来日するのは今回が初めてのことである。

東京や飯田教会・幼稚園百年の感謝会には、フィンランド大使も同行し、飯田市長も参加し

てくださる。彼が深く国民に愛され信頼を寄せられていることは言うまでもない。現在67歳。趣味は読書・歴史・スポーツ。1967年授按。1998年より現在の立場を担っている。もし、フィンランドを訪ねたら歴史の都トゥルクに古い教会がある。カトリック教会風と言うなら、それが大主教座の大聖堂であり、アーチビショップの教会である。



(杉本洋一)



# 神の造られた世界 環境と聖書

太田 立男

## 最終回

### 草の根のディアコニア

この世に生きるキリスト者として、私たちは、今、何を語るのだろうか。

切り口のひとつとしてのディアコニア(奉仕)。教育や福祉の施設と協働して教会のディアコニアの精神が広められていく場合が多いのです。その活動状況はよく知られています。教会の信徒がおこなう草の根のディアコニアが近隣の教会にさえも知られないままに推移している現実もあると思います。

教会の草の根のディアコニアをテーマに、2004年、東海教区信徒大会がもたれました。近隣の教会の働きを信徒一人ひとりが共有することを目的とした集まりでした。

近隣の教会が社会に対して何を語っているのか、お互いを知り、共通理解に立った上で、草の根のディアコニアが信徒協働体としてとらえられることが必要であることを学びました。

市民協働の必要性が叫ばれる時代となってきました。ひとつの教会がその働きを自己満足で完結させるのではなく、各個教会を超えた信徒の交わりの中で新しい信仰の動きが大切なのではないでしょうか。

私が環境ボランティアとして日常的にかかわっている地球温暖化問題をみてもキリスト者個々は意識が高く、課題に対して意識的でいろいろ心がけている人が多いと思いますが、協働によってもっと広がっていくのではないのでしょうか。

ルーテル教会にも全国ディアコニアネットワークがあります。その働き目的の一つに「教会内にディアコニアの精神をひろめること」とあります。毎年、環境・平和・人権セミナーが開催されています。様々な働きが紹介され多くのことを学びました。自然を支配するのではなく自然の一員である人間として「神の創られた世

界」が将来の子どもたちにとっても豊かな恵まれたものであることを祈りたいと思います。12回にわたって環境と聖書について書いてきましたが、ご意見などありましたらお知らせください。また、全国ディアコニアネットワークに参加して共に学びましょう。

第10の戒め 「汝、あなたの隣人の働きを知り、協働しなければならない」

2006年5月の全国総会で決議されました。「神学生寮設置のための「九千万円募金」の期間はあと残すところと1ヶ月となりましたが、1月末の時点で、8574万円に達しています。

この募金のためにお捧げくださった、日本福音ルーテル教会の諸教会の教員の方々、役員

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

「汝、あなたの隣人の働きを知り、協働しなければならない」

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

■太田先生の「神の造られた世界—環境と聖書」は今回をもって終了いたします。1年間ありがとうございました。

#### ■筆者紹介

三原教会教会学校時代から教会生活を続け、現在は日本福音ルーテル復活教会員で退職後奉仕活動(環境ボランティア)をしている。  
ホームページ <http://www006.upp.so-net.ne.jp/Lutheran/>

## 神学生寮 — 支え、支えられ —

神学生寮募金実務委員長

青田 勇

2006年5月の全国総会で決議されました。「神学生寮設置のための「九千万円募金」の期間はあと残すところと1ヶ月となりませんが、1月末の時点で、8574万円に達しています。

この募金のためにお捧げくださった、日本福音ルーテル教会の諸教会の教員の方々、役員

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

三鷹へ移転 (1969年)



会、及び後援会世話人の方にこの紙上を借りて感謝を申し上げます。

特集「神学生寮の思い出」が約2年間にわたり『るうてる』の紙上に掲載されてきました。

この企画により、神学生寮でのみ言葉との出会い、尊敬する先生との出会い、忘れることのできない思い出等を日本福音ルーテル教会全体の、あるいは教区の役員にある教職がそれぞれ口調をもって懐かしく語られたことを心から感謝いたします。

いかなる高価な物も与えることのできない、永続する価値あるもの、それは懐かしい思い出なのです。しかも、本当のキリストにおける仲間との思い出です。信仰の、同心の、同じ使命を目指す友との素晴らしい

思い出が神において、新たな神学生寮の中に今後築かれていくことを願います。それは、キリストのために宣教の使命をもって生きようとする神学生をより心豊かなものとして育ててくれるでしょう、しかも教会の宣教の群れそのものも美しい姿へと作り変えられていくに違いないと思います。

人間の持つ一番の贅沢は、過去の友を思い出すことかも知れません。



三鷹での最初の入学式(1970年)。ここには私たちの総会議長と日本ルーテル教団の議長も写っています。(広報室)

### ルーテル教会の礼拝

## 全国式文アンケートの集計から

#### まとめ

各々が属する教会は他教会と規模、信徒層など1つとして同じ状況にはありません。多様な状況に対応するために、各教会が苦勞しておられる様がアンケートからも伺うことができました。

第4回目の報告で触れましたが、現行式文には問題点や疑問もあります。どのように考えていくのか、対応が必要でしょう。また5回目、6回目で触れましたが、礼典に関する事柄についてもかなり多様な状況がみられます。今後の検討課題であるように思われます。そのほか諸式・聖書日課などについても検討が必要と感ぜられます。牧師と信徒の役割、礼拝や礼典などに関する学びなどは、教職者個人に委ねられている状況があります。個々の教職のご苦勞を思いつつ、更に豊かな礼拝のために取り組むべきものが沢山あると感じています。

最後にアンケートにお答えくださった教職・役員の方々に感謝いたします。このアンケート結果が豊かな礼拝の一助となりますなら幸いです。

尚、今回のアンケート詳細な結果をご希望の方は、市川教会・中島までご連絡ください。



交換牧師

### ボブ先生の旅日記

その四



#### 西教区の WGIAT

私が神学を学んだのはサウスカロライナにあるサザン神学校ですが、当時牧会学を教えておられたエベレット博士は素晴らしい先生でした。先生は出エジプト記3章1節にある「燃える柴」の出来事から WGIAT という頭字語を編み出しました。これは Where is God in all this? (このとき神はどこにいるか?) の頭文字です。楽しいことや大変なことを伝道の直中で経験しながら、ときにモーセのようにちょっとわき道にそれて、この問いを絶えず繰り返すようにと先生は教えてくださいました。私と妻はこの1ヶ月、西教区での有意義な働きをしながらこの問いを繰り返しました。

西教区での生活と働きの大半は「喜望の家」が中心でした。ここには驚きがあり深い霊性があります。だれでも自分の時間と賜物を発揮できる伝道の場です。距離的にボランティアが可能なら、夜回り等の体験ができ、仕えることの意味と人間の罪がもたらす現実に気づき、それがかつてない形で迫ってきます。秋山先生たちによるオリエンテーションから始まって夜回りに至るまで、実に感動的な体験の数々でした。物理的条件で参加が難しい場合でも経済的サポートもありますので、神様は誰にでもきっと機会を与えてくれるでしょう。

釜ヶ崎以外にも教会や施設、学校等を訪問できました。「喜望の家」同

様どこを訪れても WGIAT を思い起こします。

「るうてるホーム」の年長者へのすばらしいケアには神様が働いていました。当時の「婦人会連盟」の呼びかけによって1964年に始まったこの働きは、年長者の方々に対する御霊によるケアとでもいうべきものです。神様は保育園、幼稚園の子どもたちにも御手をもって働いておられました。教会の未来を彼らに委ねましょう。もちろん私たちも、イエス・キリストの恵みを知ってもらうため子どもたちとその家族に福音を伝えるべく招かれています。付属施設をもつ教会での働きで感じたことです。

WGIAT。神はいったい西教区のどこにおられるか? 信仰に根ざして行われているすべての働きの中におられます。日々の暮らしの中で「燃える柴」の前にしばし立ち止まり、思い巡らし、モーセのように行動するかどうか。それは私たち次第。ここから主イエスとの新たな信仰の旅路を歩み出すことでしょう。この1ヶ月間、私とクリスにこのような経験をさせてくださった西教区に感謝しています。



ボブ先生が撮影した釜ヶ崎の街角



### 佐賀県・22世紀に残す遺産

小城の礼拝堂が でお知らせします。改修できましたの 今回の改修で特記すべきは公的補助金を1000万円戴いたことです。総工費は1500万円、多数の募金も戴きました。来れる会員5人程の小さな教会です。自前で

す。自前で

に繋がりました。日本での「ルーテル教会」最初の伝道地の一つとして、小城教会は早120年になるうとしています。現任堅信会員の数等、統計表ではとるに足らない教会ですが、一世紀を越す幼稚園運営が、地域にたいへん評価して

に繋がりました。日本での「ルーテル教会」最初の伝道地の一つとして、小城教会は早120年になるうとしています。現任堅信会員の数等、統計表ではとるに足らない教会ですが、一世紀を越す幼稚園運営が、地域にたいへん評価して

に繋がりました。日本での「ルーテル教会」最初の伝道地の一つとして、小城教会は早120年になるうとしています。現任堅信会員の数等、統計表ではとるに足らない教会ですが、一世紀を越す幼稚園運営が、地域にたいへん評価して

はとても改修など不可能ですが、文化庁の「登録文化財・佐賀県の「22世紀に残す遺産」に登録され、この度の補助金に繋がりました。

はとても改修など不可能ですが、文化庁の「登録文化財・佐賀県の「22世紀に残す遺産」に登録され、この度の補助金に繋がりました。

**アジアルーテル国際会議**  
2月5日〜10日まで、香港 YWCA を会場に「第5回アジアルーテル国際会議 The Fifth Asian Lutheran International Conference」(ALIC) が開催されました。アメリカ ELC A からの代表をふくめ、インド、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ラオス、フィリピン、台湾、韓国、香港から参加があり、日本からは江藤神学校校長、浅野海外宣教主事、立野事務局長が会議に出席しました。

CHANGING SOCIETIES」で、社会が変わっていく中で、アジアのルーテル教会はどんな役割・宣教課題を持つているかというものでした。貧困差別、経済破綻という問題で、翻弄されているアジアの中でルーテル教会の役割は何かを問われた会議でした。私たちが日本のルーテル教会も変化する社会の中でどこに立っているのかを問われました。基調講演の中で、変化する社会の中で、変化する社会を変えていく教会の役割も「キリスト」という基点は同じであるという言葉が印象的でした。(立野泰博)

#### メディア伝道委員会

##### 報告

2月2日(月)、第1回メディア伝道委員会が開催されました。リニューアルされていないホームページの課題、経費削減のための常議員会報告のペーパーレス化(年100万円の経費削減を見込める)など、懸案事項と方向性を委員会では確認をいたしました。

まずホームページ管理の位置づけを、広報室が担うこととしました。またホームページについては、ルーテル教会の歴史や信仰告白の紹介を強化すること、各個教会の宣教に役立つことが使命であることとを共通認識とする方針を軸に4月を目標にリニューアルを行うことを確認しました。

またホームページについては、ルーテル教会の歴史や信仰告白の紹介を強化すること、各個教会の宣教に役立つことが使命であることとを共通認識とする方針を軸に4月を目標にリニューアルを行うことを確認しました。

**第14回 全国伝道セミナー**  
私にとっての伝道 - 誰に、どこで、どのように? -  
主語句「どうせすにはいられないことだからです」  
コロナの信徒への手紙 13巻16巻  
宣教師フォーラムが「日本の中心、日本のガリラヤ」  
と輝く聖地を歩こう。  
●2009.5月4日(月)〜6日(水)  
●琵琶湖国定公園 近江白浜 白浜荘  
590-1223 滋賀県高島市安曇川町近江白浜  
全国伝道セミナー実行委員会

2009年度 日本福音ルーテル教会  
**教職授任按手式**  
日本福音ルーテル教会・宣教百年記念会堂  
2009年3月8日(日)午後7時  
授任者  
小田 真帆 藤が丘教会  
武蔵野教会  
見 達也 豊後教会  
大 凡 武蔵野教会

#### ■お詫びと訂正■

るうてる1月号2ページ(下段)にて「間垣洋助先生」が「間垣洋介先生」となっておりました。お詫びして訂正いたします。

#### ■住所変更■

◇伊藤初江 〒222-0026 神奈川県横浜市港北区篠原町 1227-21 伊藤眞一(様) 方  
TEL 045-433-2164